

支え合い・助け合いの 自治会活動

自治会(区)※は地縁のつながりを基本とする区域の中で、地域住民の皆さんによって自主的に結成された団体です。地域に住む人たちが互いに協力し、支え合いながら、住みよい豊かなまちづくりのための活動を自主的にこなっています。市には129の自治会があり、地域の実情に合わせて特色ある活動をしています。

※区は、自治会、町内会、区会などさまざまな言い方があります。小牧市でも区という呼称を主に使っていますが、今回は読みやすい記事とするため「自治会」と表記します。

自治会は何をしているの？

地域に住む人たちが協力しあい、工夫しながら、住みよい豊かなまちづくりのための活動をしています。それぞれの自治会での取組の一部をご紹介します。

地域のごみ集積場の管理 (常普請区)

以前はカラスによる被害やごみ出しのルールを知らない人が多く、集積場にごみが散乱しがちでした。手作りのごみ置き場やごみ出しの看板を設置したり、ルールの呼びかけをし



たことできれいな集積場になり、みんなが毎日気持ちよく利用できるようになりました。引きつづき、ごみ集積場の改善に取り組んでいます。

地域のおまつり (二重堀区)

コロナ禍で地域行事ができない年が続いていましたが、感染症対策を含めて入念に計画し、3年ぶりに地域のおまつりを開催しました。お神輿や獅子行列、子どもたちが練習を重



ねた太鼓の披露、福引大会など、お子さんからお年寄りまで約800人におよぶたくさんの参加者が久しぶりのおまつりを楽しみました。

公園の美化活動 (小牧原西区)

みんなが利用する公園は時にはごみが落ちていたり、草が生い茂っていることがあります。各々「やれる人がやれるところをやること」をモットーに、明るい声掛けや自治会の防犯



パトロールのついでに公園のごみ拾いをしたり、定期的な草刈り活動をすることで、地域みんながいつでもきれいな公園を利用できるようにしています。

高齢者サロン活動【たまり場城山】(城山第5区)

ビンゴ大会などのゲームや、作品展示会といったみんなが一緒になって楽しめるイベントを開催したり、伊勢型紙・手芸・おしゃべりなど、参加者がそれぞれの楽しみを共有



できる交流の場となっています。普段運動する機会がない方も、健康体操やウォーキングに参加して気持ちよく体を動かしています。

とても大切な活動ばかりだコマ！

新型コロナウイルスの影響で約2年半、地域行事が中止や延期などせざるを得ない状況になりました。これまで通りとはいかなくても、やり方や形を変えて自治会のさまざまな行事やイベントが行われるようになり、少しずつ地域の活動が日常を取り戻してきています。



自治会の活動は、地元の区長さんに支えられています

近年、高齢化などに伴い、区長のなり手不足が叫ばれています。

これから区長になられる方、迷っている方の参考となるよう、実際に区長を経験された方にお話を伺いました。



小牧原南区 区長経験者
(平成 26 ~ 27 年、令和 3 年)

深谷 芳明さん

区長を引き受けることになった時の心境

小牧原南区は、区を4つのグループに分けて、順番で区長を選出しています。(大規模な団地開発でできた)戸建住宅で構成される区なので、生涯ここに住むという気持ちがあったことから「やるしかない」と覚悟を決めました。

区長の苦労は？

役員選別に苦労しました。みんなで協力する形でできる人ができることをやるということではなんとか乗り切ってきました。

区長をやってよかったこと

地域の隅々までまちの状態を知ることができました。ここに小さいお子さんのいる家庭があると、一人暮らし高齢者がいるとかそういった全体が見えてきました。また、区長同士の横のつながりもできたので、困ったことや悩みの共有をすることができました。

地域活動のエピソード

高齢者サロンの活動もやっていますが、一人暮らしの高齢者の買い物支援としてスーパーへの送迎を定期的に行っています。活動を始めた頃、多いと10人以上集まるので送迎車が足りなくなり困ったことがありましたが、一緒に送迎するよと申し出てくれた方がいました。何かをやりはじめたとき、必ず協力してくれる人がいてくれるんだと自信になりました。

これから区長になる方へ

自分に務まるかな？と心配するのではなく、一度やってみることが大事です。助けてくれる人は周りに必ずいます。前任の区長や役員も地域に残っているので、先輩に聞きながら、時には自分のアイデアを盛り込みながら助け合ってやっていけば誰でも区長ができると思います。



小松寺区 区長経験者
(令和 3 年)

川合 敏雄さん

区長を引き受けることになった時の心境

顔なじみに頼まれて区長をやることになりましたが、「とうとう役目が回ってきたか」という気持ちでした。しかし、務めることになったからにはしっかりやろうという思いがありました。

区長の苦労は？

区民から寄せられるさまざまな相談や質問に対応することが大変でした。他には、コロナ禍での任期の区長だったため、多くの地域行事等が開催できなかったことは残念でした。

区長をやってよかったこと

30年以上住んでいても地域内には知らない地名や公園などがあったため、区長を務めたことを機に再確認できました。また、地域外の知り合いが増えて楽しく飲みに行ったり、近所で区民の方に「区長さんいつもありがとうね」と声をかけてもらったりしたことは嬉しかったです。

地域活動のエピソード

自分自身が長年スポーツに携わる中で、スポーツ教室に参加した子どもたちに顔を描いたどんぐりをプレゼントしていました。やがて地域の幼稚園でも配ってほしい！と声を掛けてもらい、徹夜でこしらえたこともありました。ある時、「どんぐりのおじさんだ！」と、高校生に話しかけられ、聞くと当時園児だった子が覚えてくれていたというので驚きました。地域ならではのつながりが嬉しかったです。区長になったことで地域住民とのコミュニケーションの垣根が低くなり、お互いに声をかけやすくなった面があるなあと実感しました。

これから区長になる方へ

区長の仕事には嫌なことも楽しいこともどちらもありますが、大事なのはどちらを考えるかだと思います。何事もそうですが、まずはやってみて、楽しいことを考えて取り組んでいけば最後にはいい経験に繋がると思っています。

自治会活動に参加してみませんか？

大きな地震や災害などいざという時に助け合える地域のつながりを築いておくために、自治会などの地域の活動はとても重要です。

参加のメリット①

■人とのつながりが増える
子どもからお年寄りまで幅広い世代と交流できます。

参加のメリット②

■地域のさまざまな情報がわかる
地域の行事や市からの情報などくらしに関わる情報を知ることができます。

参加のメリット③

■住みよい地域環境づくりが進む
親睦活動のほか、防災・防犯・環境美化・福祉に関する活動に参加することで、いざという時の助け合いにもつながります。

お住まいの住所から、自治会を調べることができます。

詳しくは市ホームページか自治会支援室までお問い合わせください。



今まで地域の活動に関わったことのない方も、
できる範囲で地域の自治会活動や行事に参加してみませんか？

